

「見せかけの信仰と真実な信仰」(2025. 7. 20)

隠れているもので、あらわにならないものではなく、

秘められたもので、公にならないものはない。(マルコ 4:22)

先日、youtube を見ていたら、以前グランドキャニオンのツアーでお世話になった宇佐神 実先生（ジェネシスジャパン会長）が出ていた。「くりナビ」（CGN 日本）の司会者が「進化論が真理だと信じている私たち日本の中で、どのように神様の創造を伝え、信じていただけるようになるでしょうか」と質問します。私はその答えに驚きました。宇佐神先生は「科学を通して何とか説明しようとしなくても、大切なことは自分が本当に聖書のとおり神様がこの世界を創って下さったと確信していることだと思う」と答えられたのです。カリフォルニア大学バークレー校やその他研究機関で、宇宙物理学・進化論・地質学・言語学などを学ばれ、素人の私にも分かりやすく説明される方なのに、です。



私も神様の創造を信じています。そして、説教でも講演でも神様の創造の素晴らしさを証しています。でも、本当に自分が造られた存在として喜んで生きているか？と自問する時、怪しさを感じます。また、私はイエス様の復活を信じ、十字架の贖いのゆえに全ての罪を赦され、さらに神の子とされ、大きな愛の力に守られていると説教します。では、今安心して喜び生きているか？と問うと、聖霊の助けを求めざるを得ません。

そんな私に聖霊は上掲の御言葉を示して下さいました。見せかけの信仰と真実な信仰のどちらに生きるのか、という問いです。もし隠れているものが見せかけの信仰であれば、そのみせかけは必ずあらわになり、もし秘められているものが真実の信仰であれば、必ずその真実は公になります。確かに目や言葉や態度にいずれあらわになり公になるように感じます。であるならば、真実の信仰に固く立ちたいと思う。

今、洗礼準備会に臨んでいる若者がいます。幼少の時から教会につながり、イエス様のことを聞いてきました。やがて洗礼を受けイエス様に従って生きたい、そういう願いが湧き出て、先日申し出られました。牧師としてこんなに嬉しいことはありません。是非とも真実の信仰に生きて欲しい。そして私をはじめ教会員の皆さんも思い起こし、もう一度真実の信仰に立ち返りたいと願います。